

令和2年度災害復旧支援エンジニア活動報告

(西川町への災害復旧専門家の支援活動にオブザーバー参加)

- 令和2年7月28日～29日の梅雨前線豪雨により県内、特に村山地方では、多くの場所で被災しました。

被災箇所が特に多かった西川町において、被災状況の把握するために国の緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)へ被災調査を要請し、その報告を受けて災害復旧専門家((公社)全国防災協会)による害復旧支援が9月8日(火)に実施されました。

災害復旧支援エンジニアの災害復旧に係る技術の研鑽等を目的に、災害復旧専門家による災害復旧支援にオブザーバーとして、災害復旧支援エンジニアの羽角誠氏が参加しました。

【西川町】

○災害復旧専門家の支援活動

- ◆被災状況 (町道高旭東浦線外1路線) 道路崩壊、路肩崩壊、N=11箇所
(普通河川海味川外1河川) 護岸欠壊、河床洗掘、N=3箇所 (合計 N=11箇所)

◆活動状況① (役場会議室での被災状況の聞き取り)

- ・被災状況を町職員より説明を受け、査定時の考え方等を助言

◆活動状況② (被災現地での助言・指導)

- ・被災現地にて被災状況を確認・被災箇所の災害復旧工法等を助言・指導

◆活動状況③ (役場会議室での助言・指導)

- ・被災現地での助言・指導を踏まえて、査定時の注意点及び災害復旧の進め方等を助言・指導

○災害復旧支援エンジニアの参加(随行)活動

◆参加(随行)状況 (災害復旧専門家の支援活動への随行)

- ・町の災害復旧事業に係る災害復旧専門家の支援活動に随行

◆参加(随行)しての所感 (災害復旧専門家の支援活動に随行しての所感)

- ・災害復旧技術専門家の助言内容は、災害査定時に反映されるメリットがある。
- ・災害復旧技術専門家は、原形復旧と改良復旧の両方の工法に関して、丁寧に説明をおこない、最終的に町の方針を尊重して助言しており、とても参考となった。

